

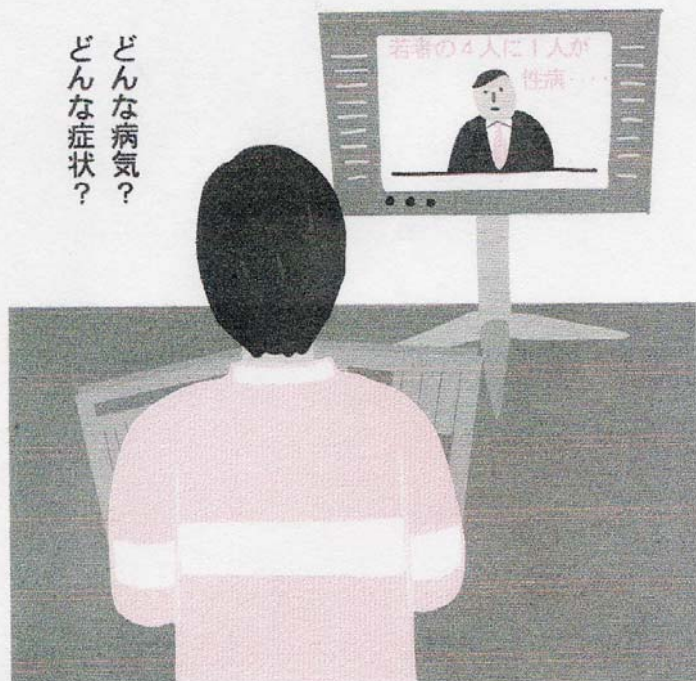
Q.1

若者の4人に1人が
性感染症を患っている
性感染症とはどのような病気ですか？

先日、新聞を読んでいると若者の4人に1人が何らかの性感染症を患っているという記事がありました。不特定多数の女性と関係を持っているわけではありませんが、少し心配になっています。性感染症にはどのような病気があり、どのような症状が出るのでしょうか？ また、治療法などについても教えてください。
(21歳/男性)

A 抗生物質の内服や注射で治癒するが 効果が現れない病気も増加中

かねとう腎泌尿器科
クリニック院長 金藤博之 先生



どんな病気？
どんな症状？

性行為が原因で起きる感染を性感染症（STD）と呼びます。クラミジア感染や淋菌感染、HIV（エイズ）感染、梅毒、ヘルペス、コンジローマなどがあります。なかでもクラミジア感染と淋菌感染が非常に多く、男女とも20歳代を中心とした若年層での罹患率が高くなっています。また最近、性行為によるHIV感染が増えています。感染してもまったく自覚症状がありませんので注意が必要です。

クラミジア感染は近年特に急増しており、女性の増加が顕著です。これは、女性では感染（子宮頸管炎）しても無症状が多いことや、若年層での性行動の変化が大きく影響しています。男性では、排尿痛や排膿などの尿道炎症状が現れますが、無症状の保菌者が増えているのも実

状です。罹患率は、女性の約半分ですが増加傾向にあります。

淋菌感染は男性に多く、尿道炎として発症し排尿痛や黄色みがかった膿が見られます。男性の淋菌性尿道炎は、10年前には一時減少したものの、その後増加しています。これは、性風俗産業での口腔性交の盛行が要因と見られます。また、女性の淋菌感染は少ないものの、ここ数年は増加傾向にあり、やはり症状が出にくいため感染蔓延化の原因になっています。

性感染症は予防することが重要です。不特定多数との性行為や風俗での口腔性交はリスクを伴うことを認識して行動してください。最近では、これらの菌による咽頭炎が増えていますので、咽頭痛など喉の症状がある場合は耳鼻咽喉科の受診も必要です。